

(6) アスファルト合材

新潟県

記事提供：新潟県アスファルト合材協会

新潟県に於ける平成29年10月～12月期の合材出荷数量は、前年同期対比92%と前年を30,147トﾝ下回る366,215トﾝとなった。この要因は、全般的に舗装工事量が少なく公共工事、民間工事共に合材需要が減少していることによると思われる。月別で見てもすべての月で前年を下回っており、特に12月は一部降雪による影響もあり前年対比82%と大幅に落ち込んだ。今年度累計では942,861トﾝ前年同期比98%・14,627トﾝ減。

地区別では、下越地区は高速道路等の大型工事を除く公共工事の減少が大きく影響し、171,990トﾝ前年対比89%・21,069トﾝ減となった。中越地区は、舗装工事の落ち込みも比較的少なく10月・11月は前年対比96%であったが、12月は降雪の影響が大きく同70%と大きく落ち込み、合計119,418トﾝ前年対比89%・15,082トﾝ減。上越地区は、工事量も比較的多く施工が順調に進んだと推察でき、すべての月で前年を上回り合計68,652トﾝ・前年対比115%・8,866トﾝ増となった。佐渡地区は、起伏の激しい出荷となり、10月前年対比45%、11月同128%、12月同58%、合計6,155トﾝ前年対比68%・2,862トﾝ減となった。

第4四半期の動向は、大幅な工事量の増加は見込めず、施工も降雪の影響が大きく合材出荷の伸びは期待できない状況である。また、1月にストレートアスファルトが大幅に値上がりし、その他重油等の油脂類の値上がりも続いている。今後も油脂類の価格は上昇基調で推移するものと考えられ、合材需要の減少に歯止めがかからない現状では、工場の厳しい状況は今後も続き増々大きくなると推察する。

富山県

記事提供：富山県アスファルト合材協会

富山県における平成29年度10月～12月期、出荷状況は、県計で13万3千tで前年同期と比べ20%の減となった。地区別で見ると東部地区が7万6千tで16%の減。西部地区は5万7千tで24%の減となった。毎年の第3四半期の出荷量はなかった。今後も公共工事、民間工事ともに大型物件は少なくなり、さらにストレートアスファルト、骨材の値上げで工場は厳しい状態にある。

石川県

記事提供：石川県アスファルト合材協会

石川県における平成29年度10月～12月の出荷状況は、前年同期に比べ加賀地区で19.5%減、能登地区で前年比23.4%減と加賀能登共に大きく減少となっており、石川県全体では前年比20.3%減となった。石川県全体の出荷状況は前期までは微増であったが、今期は官民ともに大型物件が少なく出荷は大きく減少し、厳しい状況になっている。今後も官民ともに大型物件は少なくさらに主要原材料であるアスファルトも上昇気配となっており今後も厳しい状況が予想される。

アスファルト合材出荷量の推移(10月～12月)



(単位：千t、%)

県	地区	平成28年度 年計	平成29年度				累計
			4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	
新潟県	上越	▲9 160	25 45	6 51	15 69	14 165	
	中越	5 364	▲4 80	▲9 100	▲11 119	▲7 299	
	下越	▲12 585	12 138	0 149	▲11 172	6 459	
	佐渡	▲7 26	20 6	17 7	▲33 6	18 19	
	県計	▲7 1,135	9 269	▲2 307	▲8 366	3 942	
	富山県	▲10 284	2 63	▲15 67	▲16 76	▲8 206	
石川県	西部	▲19 208	54 57	5 60	▲24 57	24 174	
	加賀	▲14 352	21 71	▲7 83	▲20 95	5 249	
	能登	▲4 103	6 19	0 26	▲23 24	▲8 69	
石川県	県計	1 454	10 90	0 109	▲20 119	▲6 318	

(注)・上段は前年同期との比較

・集計は、新潟県

会員 32 社のうち 32 社

富山県

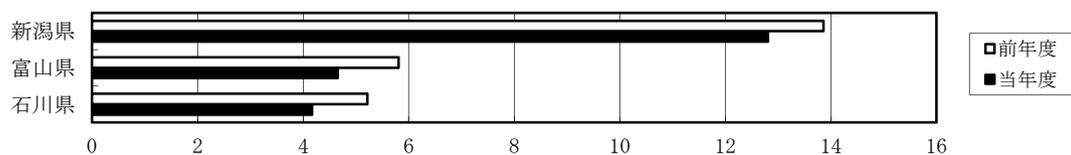
会員 14 社のうち 14 社

石川県

会員 18 社のうち 12 工場分

◎参 考 資 料

アスファルト出荷量の推移（10月～12月期）



(単位：千t、%)

県	地 区	平成28年度 年 計	平成29年度				累 計
			4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	
新 潟 県	上 越	▲ 9	25	6	15		17
		5.6	1.6	1.8	2.4		5.8
	中 越	5	▲ 4	▲ 9	▲ 11		▲ 7
		12.7	2.8	3.5	4.2		10.5
	下 越	▲ 12	12	0	▲ 11		5
		20.5	4.8	5.2	6.0		16.1
佐 渡	▲ 7	20	17	▲ 33		25	
県 計	0.9	0.2	0.2	0.2		0.7	
富 山 県	東 部	▲ 7	9	▲ 2	▲ 8		3
		39.7	9.4	10.7	12.8		33.0
	西 部	▲ 10	2	▲ 15	▲ 16		▲ 6
		9.9	2.2	2.3	2.7		7.2
	県 計	▲ 19	54	5	▲ 24		24
7.3		2.0	2.1	2.0		6.1	
石 川 県	加 賀	▲ 14	21	▲ 7	▲ 20		5
		17.2	4.2	4.4	4.7		13.3
	能 登	3	9	0	▲ 19		52
		12.3	2.5	2.9	3.3		8.7
県 計	▲ 4	6	0	▲ 23		53	
	3.6	0.7	0.9	0.8		2.4	
	1	10	0	▲ 20		▲ 6	
	15.9	3.2	3.8	4.2		11.1	

(注)・上段は前年同期との比較

※特殊アスファルト合材等が含まれる全ての合材に対しての量

「アスファルト出荷量 (千t) = アスファルト合材量 (千t) × 3.5%」